

# DX-Eさが

Vol.1  
2024.4.30

## 「新たな学び」のステージへ

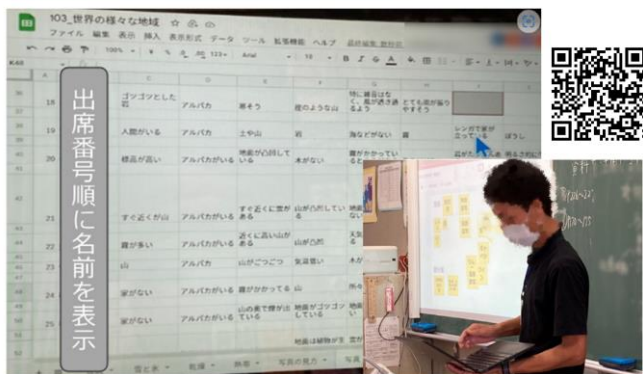
GIGAスクール構想が全国的に始まってから4年目を迎え、1人1台端末とクラウド環境を活用した学びに取り組む学校が全国的にも増えてきました。教師も子ども達も試行錯誤を繰り返しながら、授業が変わってきた学校もあります。

それは、**授業の中で一人一人の子どもに何をどのように学ぶかが委ねられ、子どもが学び方を自己決定していくような「主体的な学び」につながる場面が増えている**という変化です。



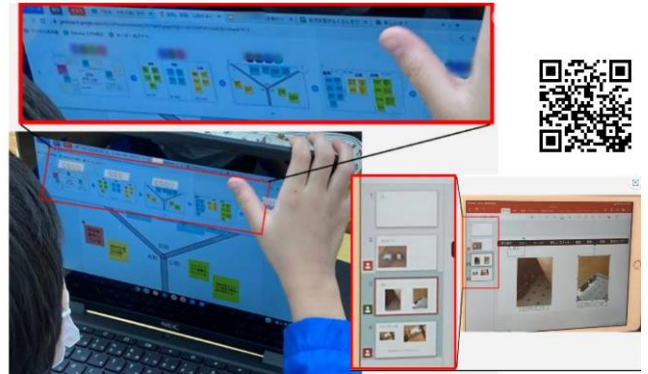
また、クラウドによってお互いの考え方が可視化されることで、教師だけでなく子ども同士がお互いの学びの進捗状況を把握することができ、子どもは友達の考え方を参照することを通して学び合い、自らの学びを自己決定していくような授業も増えています。ここで大切なことは、**教師は子どもに寄り添いつつ、少しずつ子どもに学びを委ねていくこと**です。このような「授業観の転換」こそが「新たな学び」のステージへの第一歩になるのではないのでしょうか。

### 共同編集機能で進捗を見える化



一人一人の学習状況を把握して個別の指導に生かす

### 「1人1シート」を相互参照



友達のシートを参考に自分のシートを工夫・再検討

今後は、「授業観の転換」をどう図っていくか、それを基に、学校教育で育む資質・能力をいかに身に付けさせるかを考えることが重要になってくると考えられます。

これまでの経験を踏まえながら、1人1台端末やクラウド環境を子どもの学びに取り入れる意義や必要性を改めて理解するとともに、学習指導要領で目指す学びの実現に向けて取り組んでいきましょう。今年度の「DX-Eさが」では、「新たな学び～授業観の転換～」をキーワードに発信していく予定です。

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。 → <https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



本紙写真出典  
令和5年度佐賀県ICT活用教育推進協議会  
文部科学省酒井啓至氏資料